



正岡 千博 議員

### ウェルピア伊予について

## 問

- 一・市民にわかりやすく、施設の内容を問う。
- 二・伊予市直営時の四月・五月の利用状況を問う。
- 三・敷地内、外周の利用増の促進で人工林を手入れし散歩コースの充実と歩行者の進入路を数箇所設けてはどうか。
- 四・残地一・六畝余りの維持管理及び今後の利用は。

## 答

中村市長

一・当施設は、もともと宿泊・会議・研修・スポーツなど、多機能な施設を備え、本市の都市機能の象徴施設であった。また、当施設は文化事業や各種教室に加え、サークル活動など様々であり、今回これら既存のコンセプトにこの施設

を活用して、単純なスポーツ施設だけではなく、伊予の食文化や伊予の地域資源をここから発信し、さらに既存の他施設とも連携しながら、合併後の新伊予市の新しい文化と歴史を創造していく拠点としたいとの想いで、都市総合文化施設としたものである。

コンセプトタイトルは、「カルチャー&リフレッシュ」として、文化活動やスポーツ、また食のまちづくりなどを通じ、市民の皆さんがいやされ、満足感を五感で感じられる施設へと成長させていきたいと考えているところである。

## 答

産業建設部長

二・四月の利用総人数は、二万七千六百六十六人で、前年比マイナス3・9%、五月が二万八千七百七十七人で、前年比マイナス11・8%となっている。四月・五月の総売上げは



ウェルピア伊予の散策路

五千八百六十六万四千四百九円である。

三・散策路も老朽化が目立ち、樹木も大木となり、枯れ枝も多くなっているのが現状であるが、安全管理・安心利用、そして快適な施設環境の観点からも、早急に整備を検討しており、既に費用負担等も含め協議を行っている。

歩行者の進入路の開設をとの提案であるが、費用対効果、当施設の利用が宿泊を伴うものであることから、施設安全面の問題等により現在では困難であると考えている。

四・西側テニスコートと多目的グラウンドを含む施設については、独立行政法人、年金健康保険福祉施設整備機構から伊予市に管理委託され、伊予市からFun Space（フランススペース）に管理の再委託を行っている。

### 市営住宅について問う

## 問

一・白水市営住宅の現状で空き住宅の撤去や空き地の利用等について、今後の方向付けを問う。

二・市営住宅の現況を問う。

## 答

中村市長

一・該当の住宅は、政策空き家対策（募集を行わない住宅）を講じており、住宅敷地には都市計画街路、築港白水線が

斜めに縦断した状態で線引きがなされ、敷地が分断されている。また、路線内には一定の建築規制がかかっており、建設計画の立案が難しいのが現実である。今後は、築港白水線の取り扱いについて、関係機関と協議をすることにも、

今年度策定を行う伊予市市営住宅ストック総合活用計画においても、十分検討していきたいと考えている。

## 答

産業建設部長

二・総数六百五十四戸を管理し、実質入居可能な住宅は六百四戸である。居住水準の改善、質の向上、安全性の確保を図りたいと考えている。

### 学校の緑化について問う

## 問

一・地球温暖化防止と環境教育を目的に、伊予市立の小・

中学校の「緑のカーテン」壁面緑化への取組状況を問う。

## 答

上田教育長

一・本年度港南中学校の南校舎一階に設置を検討している。

元来、校舎が持つている太陽熱受容体としての役割を抑制し、子供たちに安らぎや、いやしを与える壁面緑化を来年度以降、他の学校にも推奨していきたいと考えている。

二・教育や体育活動の活発化といった教育上の効果や美観の向上、砂じんの飛散防止といった環境保全上の効果がある一方、施工期間や利用期間が制限されることや高度な芝生化技術の必要性等が考慮される。実施には双方の比較検討や協力者の発掘や費用対効果などでさらに検討する必要がありと考えている。地球温暖化防止対策や情操教育に貢献する学校の緑化について、今後あらゆる機会を通して検討したいと考えている。

### その他の質問事項

・団塊の世代を故郷へ